

建学発2018-第0092号

2018年7月31日

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 中西 宏 明 殿

一般社団法人 日本建築学会

全国建築系大学教育連絡協議会

会長 古 谷 誠 章

就職活動時期に関する建築系教育界からの要望

全国建築系大学教育連絡協議会は、近年、学生の就職活動時期が異常に早期に開始され、かつ学生によっては極めて長期化する実情に対し、本来の学修活動に深刻な支障をきたすものとして大きな憂慮の念を抱いております。

また早期化する就職活動の中で、学生自身の志向を見極められないまま就職先を決め、その結果、入社後に離職する者が頻出するなど、学生、企業、教育機関の、いずれにとっても不利益を生じています。さらに、留学期間が就職活動時期に重なることもあって、昨今問題となっている学生の留学離れを助長し、長期的にも国際社会で活躍する人材の育成を阻むこととなって、日本全体にとっての不利益も招いています。

近年の就職活動時期は、4年生（修士課程2年）の卒業（修士）論文・卒業（修士）制作などで学業をまとめる重要な時期と重なり、後輩たちがその姿を見て学ぶことが教育上極めて有効であるにもかかわらず、それが極めて困難な状況にあります。就職活動の開始を学業に支障のない最終学年の適正な時期に定着し、かつ活動期間を短縮することで、学生に安心して学業に専念してもらう仕組みづくりが重要と考えます。

貴連合会のリーダーシップによって、こうした仕組みが広く社会に定着し、学生の適正な学修と就職を促せるよう、政府や関連団体ならびに企業間の強い連携を切望します。要望を初めてお届けした2014年、そして2016年、2017年に引き続き、今般改めて全国建築系大学教育連絡協議会（全国建築系大学・大学院・高専・専門学校等216校所属）にてとりまとめました、本年度の就職時期に関する教育界からの要望を下記の通り提出いたします。なにとぞ、趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

記

就職活動時期・選考時期に関する要望：

1. 企業説明会等の時期について：

大学3年生（修士課程1年生）3月1日以降とする。なお、4月から7月までの春期開講期間は週日の昼間の開催を避け、概ね秋期の学業の始まる9月末日までを目途に終了していただきたい。

2. 上記以外のOB・OG訪問、インターンシップ（就職活動、企業紹介等の一環として行うもの）、ならびに面接、採用試験等の実施日について：

春季、夏季の休業期間中のほか、開講期間中にあっては学業に支障のない週末や、放課後の時間帯などに行っていただきたい。

3. 留学先からの帰国学生について：

6月頃に学期を終了して海外の留学先から帰国する最終学年（主として修士課程2年生）について、別途選考の時期を設けるなど、就職上の不利益とならないよう特段の配慮をいただきたい。

以上